

## 福島県の被害状況

### 地震・津波被害

浜通りを中心に甚大な被害【死者3,967人】 内陸部も倒壊家屋多数

#### ◆福島県内の被害状況 【平成29年3月21日現在】

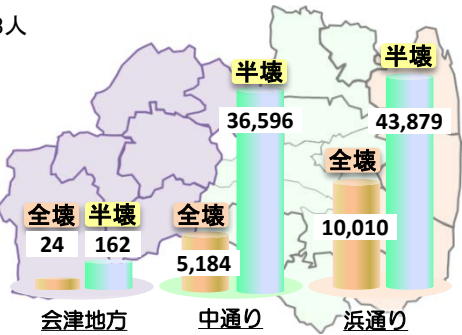
##### 【人的被害】

◆死者:3,967人  
(うち、震災関連死※2,139人)  
◆行方不明者:3人

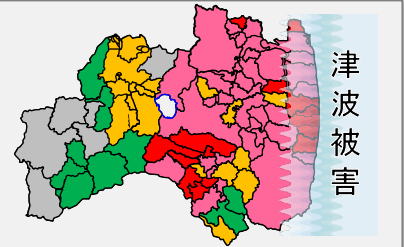
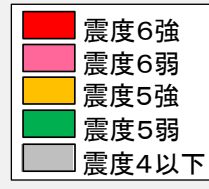
##### 【家屋被害の状況】

◆全壊:15,218棟  
◆半壊:80,637棟

※震災関連死とは地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。



#### ◆県内各地の震度



#### ◆災害廃棄物の処理状況 【平成28年12月末現在】 (単位:千トン)

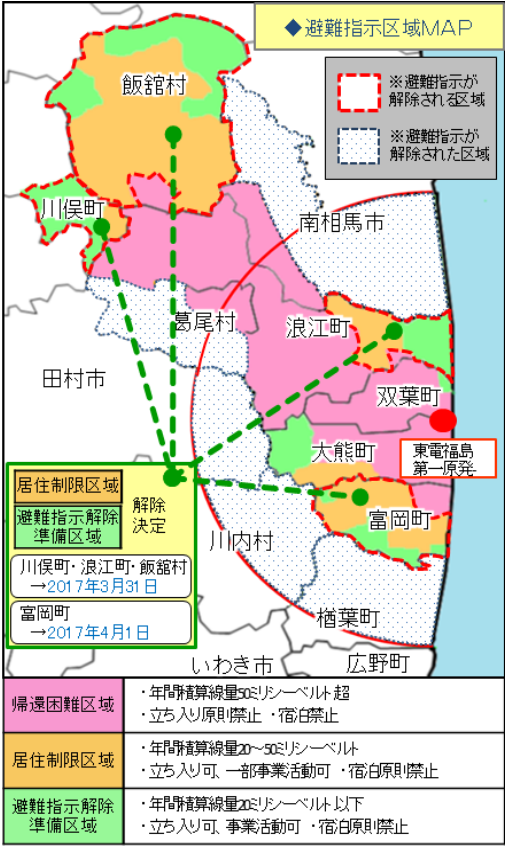
方部	発生見込量	仮置場搬入量	処理・処分量
浜通り	2,944	2,940 (99.8%)	2,490 (84.6%)
中通り	1,056	1,048 (99.2%)	1,040 (98.6%)
会津	19	19 (100.0%)	19 (100.0%)
合計	4,019	4,007 (99.7%)	3,549 (88.3%)

【出典】福島県一般廃棄物課調べ

### 避難等の状況

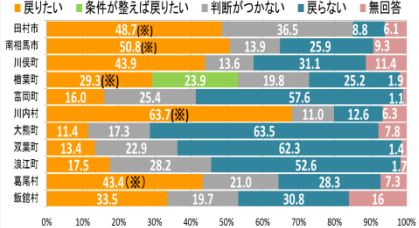
平成29年2月現在の避難者数は79,446人【県内39,608人 / 県外39,818人】

#### ◆避難指示区域解除の状況



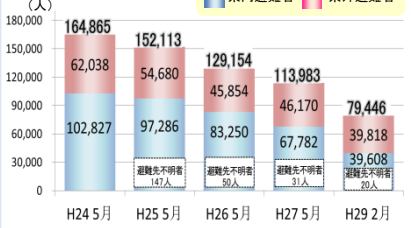
日時	市町村	解除の状況
2014.4.1	田村市 郡落地区	避難指示解除準備区域解除
2014.10.1	川内村	避難指示解除準備区域の避難指示解除 居住制限区域を避難指示解除準備区域へ再編
2015.9.5	楢葉町	避難指示解除準備区域解除
2016.6.12	葛尾村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
2016.6.14	川内村	避難指示解除準備区域解除
2016.7.12	南相馬市	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
2017.3.31	川俣町	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除決定
2017.3.31	浪江町	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除決定
2017.3.31	飯館村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除決定
2017.4.1	富岡町	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除決定

#### ◆復興庁・県・市町村による住民帰還意向調査結果



【調査年度】H28年度(南相馬市、川俣町、楢葉町、富岡町、川内村、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村) H27年度(田村市、大熊町)  
(※)すでに戻られている方含む

#### ◆避難者数の推移



【出典】福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報」各月最終報

#### ◆福島県の人口推移

	世帯数 (単位:世帯)	人口		
		男性	女性	
H23.3.1	721,535	2,024,401	982,427	1,041,974
H29.3.1	743,327	1,892,982	936,666	956,316
増減	21,792	▲131,419	▲45,761	▲85,658

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

#### ◆子ども(18歳未満)の避難状況

	H24.10.1	H28.10.1	増減数
18歳未満避難者数	30,968	20,430	▲10,538
県内			
避難者市町村内	3,307	2,557	▲750
避難者市町村外	10,691	8,621	▲2,070
県外	16,970	9,252	▲7,718

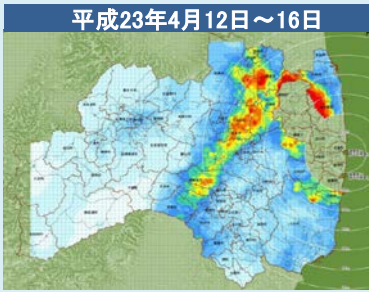
【出典】福島県子ども・青少年政策課調べ

# 福島県の主な取組状況

## 除染

県内の空間放射線量は低下傾向～住宅除染は着実に前進

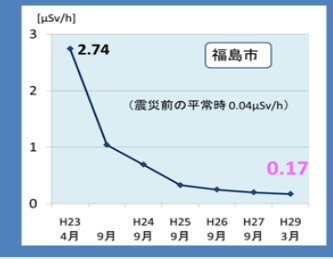
### ◆福島県内の空間線量の推移



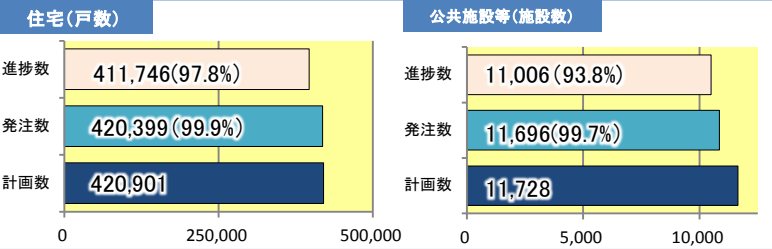
【帰還困難区域で走行サーベイを実施】



### ◆福島市の放射線量の推移



### ◆市町村除染地域における除染の実施状況 (H29.1月末時点)



### ◆住宅除染の進捗数(累計)の推移



## 健康調査

将来にわたり県民の健康調査を実施【甲状腺検査はH25年度までに先行検査(1次検査)を終了】

### ◆甲状腺検査

震災時18歳以下等の子ども約38万人を対象→先行検査は約30万人が受診。平成26年度から本格検査を実施中

判定区分	判定内容	先行検査		本格検査		本格検査2回目	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
A判定	A1 結節や嚢胞なし	154,607	99.2	108,688	99.2	25,182	99.3
	A2 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞	143,575		159,554		45,418	
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞	2,293	0.8	2,226	0.8	483	0.7
C判定	直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0	0	0.0

※先行検査:平成23～25年度、本格検査:平成26年度～

### ◆内部被ばく検査

【平成23年6月～平成29年1月】

予託実効線量*		人数(人)
1mSv未満		319,436
1mSv		14
2mSv		10
3mSv		2

※概ね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量

県実施分の累計検査人数 319,962人



## 住環境整備

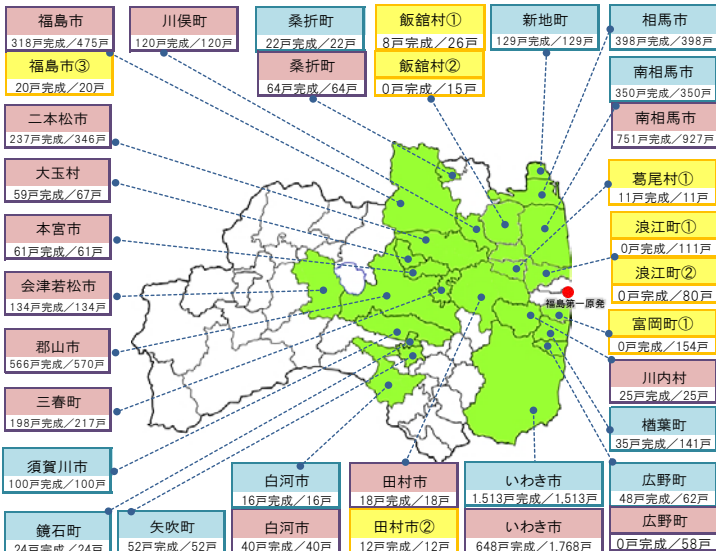
原発避難者向け復興公営住宅を4,890戸整備予定

### ◆復興公営住宅等の整備状況

【平成29年2月28日現在】

\*市町村別進捗内訳\*

区分	整備予定	対象者	完成戸数
地震・津波被災者向け	11市町村 2,807戸 (平成29年度完成予定)	地震・津波により住宅に被害を受けた住民	2,687戸(96%)
原発避難者向け	県主体 4,890戸 (平成29年度完成予定)	避難指示区域の住民(解除区域を除く)	3,239戸(66%)
帰還者向け①	4町村 302戸	避難指示区域の住民(解除区域を含む)	19戸(6%)
帰還者・新規転入者向け②	3市町村 107戸	・避難指示区域の住民(解除区域を含む) ・自主避難者・新規転入者	12戸(11%)
子育て世帯向け③	1市 20戸	18歳未満の子育て世帯(自主避難者含む)	20戸(100%)





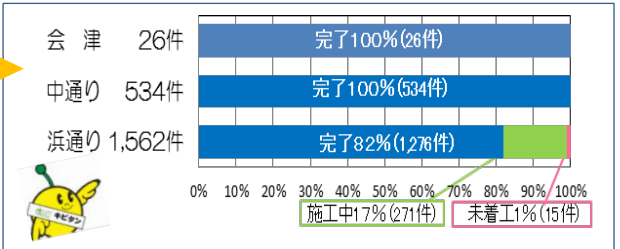
# インフラ復旧

# 災害復旧工事は99%着手～全体の87%が完了

## ◆公共土木施設等災害復旧工事の進捗 【平成29年2月28日現在】

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了 見通し ※帰還困難区 域を除く
		着工率	完了率			
計	2,122	2,107	99%	1,836	87%	
河川・砂防	272	271	99%	242	88%	H31年度
海岸	157	155	99%	90	57%	H31年度
道路・橋梁	798	795	99%	749	94%	H30年度
港湾	331	331	100%	311	94%	H29年度
漁港	467	458	98%	347	74%	H30年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

## ◆地域別進捗状況



## ◆避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

査定決定数 (箇所数)	着工 件数	着工率	完了 件数	完了率
344	322	94%	193	56%

## ◆災害復旧工事の様子



## 産業振興

## 企業立地補助金による支援等で工場の新增設が増加

### ◆企業立地の状況

【平成28年9月末現在】

ふくしま産業復興企業立地補助金471社を指定



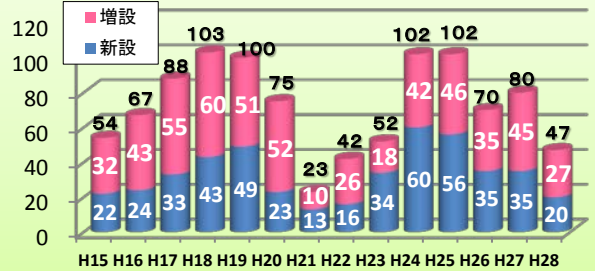
＜指定を受けた主な業種＞

- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

5,923人の  
雇用創出見込み

### ◆福島県内の工場[敷地面積1,000㎡以上]新・増設状況

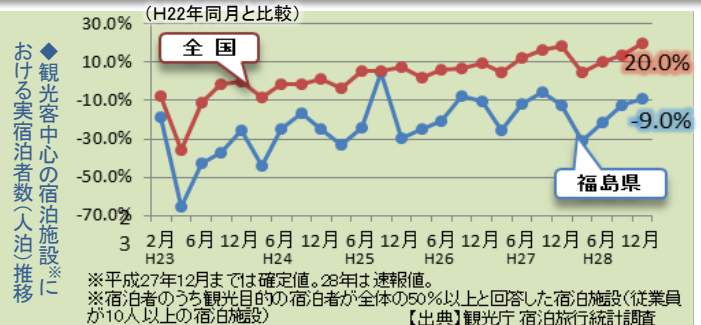
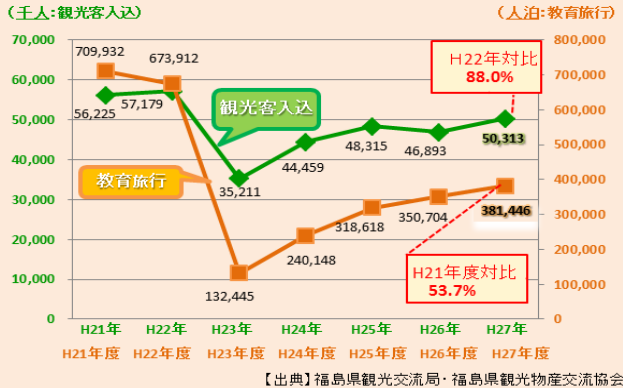
【県工業開発条例に基づく設置届出件数】



## 観光再生

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業を積極的に取組み～復興を世界に発信

### ◆福島県観光客入込と教育旅行の状況



## 2020年東京オリンピック野球・ソフトボール競技 本県開催決定！！

平成29年3月17日、2020年東京オリンピックの野球・ソフトボール競技の一部試合が本県で開催されることが決定しました。東京オリンピック・パラリンピックは福島が世界から注目される貴重な機会となります。これまでのご支援への感謝をお伝えするとともに、復興が進んだ本県の姿を発信してまいります。



## 全国新酒鑑評会4年連続日本一

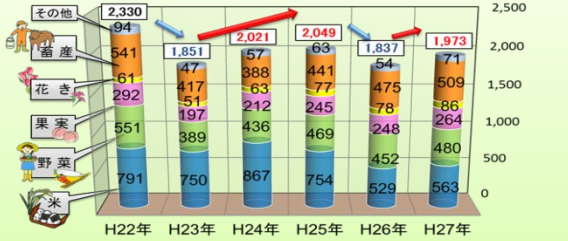
平成28年5月18日、日本酒の蔵元が新酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」において、県内蔵元の18銘柄が金賞に選ばれ、4年連続の日本一を達成しました。福島県産の金賞受賞数1位は通算6回目となります。



# 農業再生

コメの全量全袋検査や県産農林水産物のモニタリング等を通じて安全・安心な農林水産物を提供

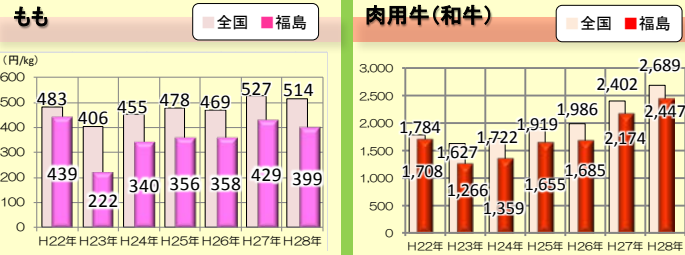
## ◆本県の農業産出額の推移



※ 項目毎の四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しません。  
 ※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年、H27年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。

【出典】農林水産省「生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、漁業生産額より作成」

## ◆福島県を代表とする農畜産物【ももと牛肉の価格推移】



【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報 (単位: 円/kg)

## ◆米の全量全袋検査の結果

(平成28年8月24日～平成29年2月28日)



## ◆野菜・果物、畜産物等の検査結果

【平成28年4月1日～29年2月28日】

種別	検査件数	基準値超過数	超過割合
野菜・果実	3,763件	0件	0.00%
畜産物	4,026件	0件	0.00%
栽培山菜・きのこ	1,026件	0件	0.00%
海産魚介類	7,785件	0件	0.00%
内水面養殖魚	108件	0件	0.00%
野生山菜・きのこ	762件	2件	0.26%
河川・湖沼の魚類	577件	4件	0.69%

※国のガイドラインに基づき福島県が実施している検査。

## 拠点整備

## 復興の推進力となる研究開発～産業創出拠点を各地に整備

### 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

技術開発や人材育成を推進  
 郡山市

提供: (国)産業技術総合研究所  
 国立研究開発法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備、平成26年4月1日に開所。スマートシステム研究棟が平成28年4月1日に運用開始。

### ふくしま医療機器開発支援センター

郡山市 H28. 11.7 開所

医療機器の開発から事業化までの体系的な支援を行うため、大動物を活用した安全性評価や医療従事者の機器操作トレーニング等を実施する拠点を整備。

### ふくしま国際医療科学センター

【医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター】

福島市 H28. 9.12 開所

県立医科大学敷地内に医療界と産業界の橋渡し役として、がんを中心とした新規治療薬・診断薬・検査新薬などの創薬支援拠点を整備。

### 浜地域農業再生研究センター

南相馬市 H28. 3.25 開所

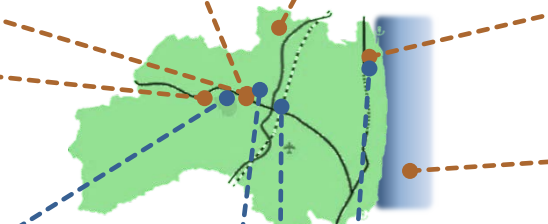
避難地域等の営農再開、農業再生に向けた調査研究のための拠点を整備。(旧菅浜ニュースポーツ広場内)

### 会津大学復興支援センター【先端ICTラボ】

会津若松市 H27. 10.1 開所

ICTを活用した地域産業振興を担う企業の集積や人材育成に取り組むとともに、先端ICT研究を推進し、新たなICT産業を創出するための研究開発拠点を整備。

提供: 会津大学



### 浮体式洋上風力発電 実証研究事業

福島県沖 稼働中

提供: 福島洋上風力コンソーシアム

世界最大級「ふくしま新風」(全高188m)運転開始

浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

[第一期] 2メガワット風車  
 平成25年11月11日より運転開始  
 [第二期] ①7メガワット風車  
 平成27年12月26日より運転開始  
 ②5メガワット風車  
 平成28年7月20日設置、試運転中

### 環境創造センターと附属施設

交流棟: コミュン福島【環境創造シアター】

360度全方位に映し出される映像を体験できます。

### 環境創造センター

環境の回復に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点施設。

### 猪苗代水環境センター

猪苗代町  
 猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の調査研究、環境学習・普及啓発等

### 野生生物共生センター

大玉村  
 野生生物の調査研究・環境学習・普及啓発等

南相馬市 環境放射線センター  
 原子力発電所周辺のモニタリング 常時監視

三春町  
 研究棟 本館  
 交流棟「コミュン福島」